

施策	5402 歴史文化等の保護と活用							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	職員、市民							
施策が目指す姿	歴史文化遺産の調査・研究・保存の推進、伝統芸能活動等の継承支援、観光資源としての活用策の検討等を図る							
成果指標	文化財等指定件数...平成29年度で305件(現状値292件) 伝統芸能等保存団体構成者数...平成29年度で160人(現状値150人)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [ 件 ]	予定	271.00	292.00	294.00	299.00	305.00	
		実績	271.00	297.00	300.00	301.00		
	成果指標2 [ 人 ]	予定	98.00	150.00	153.00	157.00	160.00	
		実績	98.00	115.00	172.00	184.00		
		単位コスト	1,621.09	980.41	683.46	1,603.23		
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
実績								
	単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	170,833	116,156	249,057	324,323			
	実績	158,867	112,747	117,555	294,995	0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指数をH25の50%から目標値70%に向上させるには、適切な文化財保護行政と資料館事業が必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	文化財の指定件数は、新指定1件で301件となった。保存団体構成者数は、184人となった。						
	課題	今後、各地域の文化財を掘り起こすことや、現在指定の文化財の再確認作業が必用であり、補助金制度の充実が必要。						
	取組方針	指定文化財の管理について計画をたて、また伝統芸能活動等の継承を支援しながら、文化財の啓蒙啓発を図りたい。						
外 部 評 価	成果指標はともに目標を達成しているが、本施策の目指す姿を実現するために必要な成果指標の見直し、目標値の妥当性を検証されたい。 文化財等の件数を増やすことも大切であるが、それをいかに保存し、いかに活用していくかを検討することも重要であると感じる。 引き続き、市の文化財の掘り起こしや新たな活用と他施策との連携を模索されたい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	575101	文化財施設共通管理費				2,898	100	
	575301	郷土参考館管理運営費				3,650	100	
	576601	栃木市史料調査研究事業費				1,300	100	
	578001	伝統的建造物群保存事業費				48,859	100	
	714301	文化財保存修理事業費				5,994	100	
	719601	文化財補助金				3,355	100	
	722401	市内遺跡調査事業費				5,990	100	
	733105	西方城址案内看板整備事業費(西方地域会議)				922	100	
	735301	蔵の街まちづくり事業費				7,500	100	
575105	西方民俗資料室管理運営費				479	94		



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	578001	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	伝統的建造物群保存事業費										主	5402	文化の振興	歴史文化等の保護と活用	
担当部課 係・担当チーム名	総合政策部 蔵の街課 重伝建係						担当者	横倉 悟史		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	文化財保護法、栃木市伝統的建造物群保存地区保存条例				事業期間	H 2 2 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	400,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区を指定し、伝統的建造物を修理保存していくとともに、その他の建築物等についても修景を促進することにより、歴史的な町並み景観の形成を図る。 「栃木市栃木町伝統的建造物群保存地区」 「栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区」 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 伝建地区を2地区指定し、国の重伝建地区の選定を受けること。 伝統的建造物の修理・保存とその他の建築物等の修景を進め、歴史的な町並みを形成すること。							
	成果目標	文化財等指定件数...平成29年度で305件(現状値292件) 伝統芸能等保存団体構成者数...平成29年度で160人(現状値150人)													

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成 27 年度		平成 2 8 年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	8,507	15,368	事業の内容 その成果 歴史的な町並み景観の形成推進を図った。 伝統的建造物修理等補助事業 ・伝統的建造物修理 2件 伝統的技術継承事業支援 保存審議会の開催(9月8日) ・伝統的建造物の特定について ・栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について 保存計画変更(7月2日、9月25日告示)		歴史的な町並み景観の形成推進を図った。 伝統的建造物修理等補助事業 ・伝統的建造物修理 4件 伝統的技術継承事業支援 市民啓発事業 保存審議会の開催 ・8月22日、3月8日 保存計画変更(10月11日告示) 防災計画策定に係る調査業務 伝建地区目指す町並みデザイン作成業務						
	県支出金	2,836	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	6,629	18,491									
	事業費 a	17,972	33,859									
	人件費 b	15,000	15,000									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	32,972	48,859	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1.00	1.00	伝統的建造物群保存地区の指定数 H 2 8 目標値：1 箇所	市が決定した伝統的建造物群保存地区の累計数	箇所		妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	15.00	19.00	伝統的建造物等修理・修景件数 H 2 8 目標値：1 9 棟	補助を受けて修理を行った伝統的建造物及び修景を行ったその他の建築物等の累計数	棟							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 嘉右衛門町地区については、都市計画課と連携して、伝建地区としての歴史的なまちづくりを進めていく。 栃木町地区については、歴史的資源を保存していくために伝建地区指定の検討を行う。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--